

教育工学とOECD

日本の大学とヨーロッパの高等教育

最近、公務員のボーナスカットや月給の一部減額が報道されて、国民全体が年間所得の低下に悩まされている。図1は一九九五年から二〇年間の国民所得の推移であり、図2は一九七五年以来の大学の授業料の高騰ぶりを示すものである。



西之園氏

OECDの活動をそのままで日本の大学の現状に適用することはできない。わが国では高額の授業料を徴収しているのが教育サービスが重視され、

第二条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健全な身体を養うこと。

二 個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんでき、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

六 国際理解を促進し、平和と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

七 国際理解を促進し、平和と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

以上のように教育する側の責務を定めているが、フランスの教育基本法では「第一条 教育は、国の最優先課題である。教育という公役は、生徒及び学生を中心に置いて構想され組織される。それは機会の均等に貢献するものである。」

「第一条 教育は、人格の発達、初期教育・継続教育の水準の向上、社会生活・職業生活への参加、及び市民としての権利の行使を可能にするため、教育を受ける権利は各個人に保障される。」

「第二条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。」

「第三条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。」

「第一条 教育は、国の最優先課題である。教育という公役は、生徒及び学生を中心に置いて構想され組織される。それは機会の均等に貢献するものである。」

「第二条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。」

「第三条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。」

「第四条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。」

わが国の教育費、高騰問題

欧州に解決策を探る

NPO法人学習開発研究所代表 西之園晴夫(京都教育大)

「第一条 教育は、人格の発達、初期教育・継続教育の水準の向上、社会生活・職業生活への参加、及び市民としての権利の行使を可能にするため、教育を受ける権利は各個人に保障される。」

「第二条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。」

「第三条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。」

「第四条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。」

— 上 —

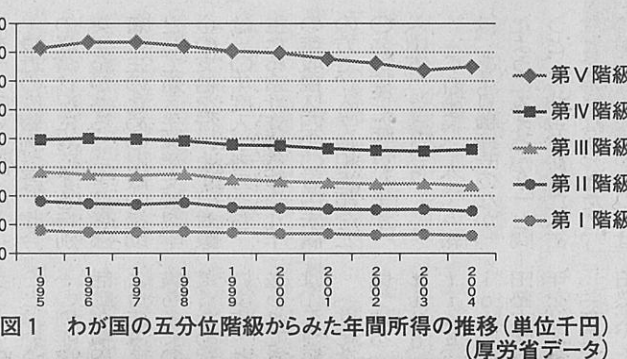


図1 わが国の五分位階級からみた年間所得の推移(単位千円)(厚労省データ)

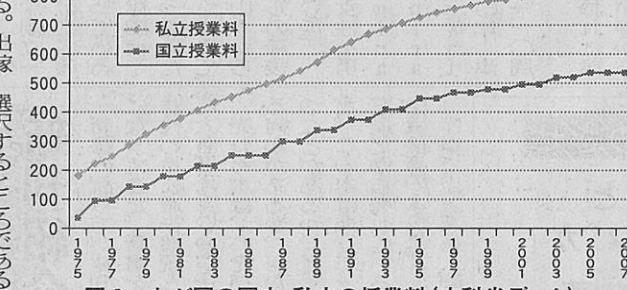


図2 わが国の国立・私立の授業料(文科省データ)

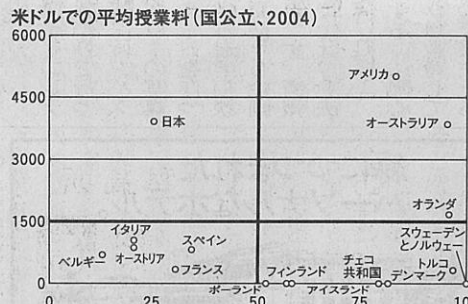


図3 奨学金などを受けている学生の比率 OECD Education at a Glance (2008) のデータから